

長期ビジョンに関する高校生及び大学生ワークショップ 開催レポート(総括のみ)

高校生ワークショップの総括

高校生が八王子の未来のありたい姿として大切に思っていることについて、次のようにまとめました。

(1) 交流の機会にあふれ、居場所がある

高校生同士の交流、小中高大学生など異年齢の交流、地域住民との交流、シニアや子育て世代など多世代間の交流、八王子に暮らす外国人との交流、八王子の企業との交流、周辺市との交流など、様々な立場の人と関わりたい意向が強く、「受け身」ではなく「高校生が積極的に関与」する姿勢や場の必要性があげられた。交流が増えることで、互いが必要としていることを知り助け合うことができる、地域の中に関わりが増え安心につながるなど、「交流」が地域の暮らしに「安心できる居場所」をつくると考えている。

また交流の場は、新しい考えに触れ、新しい発見・刺激が得られる場と考えていて、高校生にとって楽しく意義のある場と考えている。自由に訪れて勉強したり、話したりできる場所など、高校生が集まる「たまり場」への期待もあった。

【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・交流しやすい目的型の交流施設を増やす
- ・世代、国籍、障害などを越えて、楽しみながら交流できるイベント
- ・お年寄りなどと集まって食事や趣味ができる場所。何をしているか見え、楽しそうな場所をつくる
- ・お年寄りが孫世代に日本の伝統文化を教える機会
- ・ボランティア活動や防災防犯活動など、地域のコミュニティ活動に積極的に参加する
- ・学生が利用できる施設の拡充
- ・学生が新たな発見をしたり、刺激を受ける交流の場 オンライン学校間交流、国際交流等
- ・自由に集まれる場、勉強できる場所、学生ウェルカムなお店、たまり場

(2) 他者への思いやりがあり、多様性が尊重される

様々な立場の人が安心して暮らせる、誰もが生きがいを持ち、多様な人が住みよく暮らせるなど、他者を思いやり、多様性を尊重する思いが強くみられた。外国籍住民への言語サポート、ひとり親への支援、安心して歩ける道路整備、誰でも移動しやすい交通インフラなど、弱者への配慮が行き届いた住みよさのソフト・ハード面の整備を重視している。住みよさには、イキイキと楽しく暮らせること、互いに学び合えることなども含まれている。また、思いやりの一歩として、気軽なコミュニケーションが必要と考えている。

【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・安心して子を産み、育てられる子育て支援環境の充実
- ・ひとり親の育児支援環境の充実
- ・外国籍住民への言語サポート、外国人と市民の助け合い
- ・高齢者の手助け、高齢者をはじめ誰もが孤独を感じないような関わりを増やす
- ・誰でも歩きやすい、けがをしないインフラ、ソフト・ハード面の整備、段差の解消
- ・コミュニケーションの取りやすい社会、気軽に話せる、発信できる
- ・気軽に世代を超えてお互いの思いや考え、意見を言い合える場をつくる

(3) オープンな八王子であること、積極的な情報発信

外から見てオープンな八王子でありたい、新しいことを取り入れ変われる八王子でありたい、八王子の良さをPRして若者の流出抑制や企業誘致を図りたい、近隣市とコラボして八王子の魅力を増幅させたい、多様な情報ツールを活用して海外にまで八王子の良さを伝えたい、都心に近いながら自然や農業が息づく「東京の中の田舎」という魅力を活かし、ずっと住み続けたいと思える選ばれるまちになりたいなど、常に柔軟に変化していくこと、八王子の魅力を発信することの重要性を感じている。

【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・外の人から見てオープンで気軽に入り込みやすい地域コミュニティをつくる
- ・交通機関の充実や育児のしやすさなど、定住したいと思える魅力を増やす
- ・八王子の魅力であるソウルフードや祭りの認知度を高める
- ・豊かな自然や人のつながりなど「田舎らしさ」と都心からのアクセスの良さを前面にアピールする
- ・持続可能な住まい方ができるまちとして移住制度の充実を図る
- ・他市とのコラボにより活性化・増幅させる
- ・情報発信を充実して八王子の良さを外部(海外)にPR
- ・防災に強い環境を活かす、PRする

(4) モノ・場所・情報の共有

シェアリング・エコノミーの時代を背景に、モノだけでなく、場所や時間の共有が地域社会の持続性にもつながるとの意見がみられた。多くの人々が利用できる施設、1か所で幅広い情報が手に入る施設、必要な情報が必要な人に届くシステムが必要で、場所や時間を共有するには、その情報が届くことが重要であると考えている。

【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・手軽にモノ・場所・情報を共有できる仕組みをつくる
- ・一か所で幅広い分野の情報を得られるようにする
- ・多くの人々が誰でも使える、地域に開かれた施設の整備 より多くの人に知らせる
- ・助けが必要な人の情報の共有、目印(マタニティマーク等)などツールの作成
- ・身近な情報について、信頼できる情報が入手しやすくなる

大学生ワークショップの総括

大学生が八王子の未来のありたい姿として大切に思っていることについて、次のようにまとめました。

(1)「豊かな自然」と「程よい都会」が共存する強みを活かす

八王子は都心のすぐ近くにありながら、「豊かな自然」と「程よい都会」の両方の魅力がある。八王子がもつ都会の利便性と自然の恵を同時に享受できる特別な場所であることを活かしたい。

自然は小中高生の成長の場や生涯学習の場など教育の場として活用したいと考えている。豊かな自然をフィールドとした学習活動や自然の中でのオンライン授業・リモートワーク、動植物と触れ合う体験を通して、悩みを抱える子どもを支援したり、自然を活かしたエンターテインメントを考案したい。また、程よい都会(マイルドな都会)として、住みやすさや居心地のよさを向上させていくことが必要と考えている。

【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・ITを活用して住みやすい環境づくり(利便性の向上、コミュニケーションの活発化)
- ・自然を活かして住みやすい環境づくり(リフレッシュできる公園、川沿いにベンチ・遊び場など)
- ・社会人や大学生など都会で暮らす人が、自然の中でリラックスできる空間づくり(カフェ、公園、ベンチ)
- ・オンライン授業、リモートワークしながら自然と触れ合える環境づくり
- ・自然と提携したエンターテインメントの考案
- ・緑の減少と公園の配置について再検討が必要

(2)地域ビジネスの創出や地元で働きやすい環境を整える

八王子には多種多様な企業が立地していると同時に、都内でも農業が盛んなことに注目し、地域経済・地域産業の活発化や、八王子で働くことの視点があげられた。

特産品を活用した商品開発に大学生が関わり、新しい魅力や価値の創出を図ることや、市内産の食材を使った弁当を開発し企業や学校に届けるなど、地産地消のビジネスモデルづくり、「食」を通じて八王子の魅力発信や観光・MICEへの取り組みを行い、市外からの来訪・消費の拡大を図りたいと考えている。また、市内で新しい仕事が創出されたり、地元で仕事がしやすくなるために、地域内の交流や資源を活かした仕事につなげる場・仕組みづくり、働きやすいまちとして環境を整えていくことを望んでいる。

【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・地産地消を通じてビジネスを成り立たせると同時に、地域のコミュニケーションを深める
- ・「八王子弁当」等をつくって企業・MICEでも活用
- ・商品開発に学生が参画(名物料理、商品紹介のPOPづくり、パッケージデザイン等)
- ・大学生が広告塔になって、SNS等で写真を使って八王子野菜の良さをPR
- ・市内の企業や商店を盛り上げる地域広告を学生が作成し、話題性を高める
- ・リモートワークが増える中、通勤せず、地元で仕事しやすい環境づくり
- ・観光・MICEの取組のための環境・施設整備と市外からの来訪・消費の拡大を図る
- ・地域内の交流や資源を活かして仕事につなげる場・仕組みづくり
- ・高尾山などの自然を活用して宿泊観光やMICEの推進により、地域経済を活性化

(3) 地域と関わるための「参加しやすさ」、「一緒に楽しむ」仕組み・場をつくる

大学生は、地域の農産品を活用した商品開発や、地元の人が気づかない地域の魅力探しなど、学生ならではの視点で新しい魅力や価値を創り出し、魅力発信ができると考えており、大学と地域・企業との連携、地域活動に気軽に参加できる仕組み・場を求めている。

大学生が地域と関わりをもつためには、地域活動に気軽に参加できること、住民活動や多世代との交流を一緒に楽しむことができること、アイデアの提案、SNS等を用いた発信を担うなど地域の役に立つこと、などの地域活動に参加するための動機付けや機会づくりが必要と考えている。

【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・住民と一緒に地域づくりに取り組む機会の拡大
地域課題の解決や地域資源の活用、地域の魅力発信
- ・大学と地域の連携
授業の一環で地域と連携して学ぶ。地域の人と学生の学び合いによるアイデアの実現
- ・地域の人と一緒に楽しむ(農業体験・食・イベント)
- ・地域人材、地域資源の情報集め、連携した取組の拡充
- ・地域活動に気軽に参加できる仕組み。入口は広く浅く、楽しく柔らかく
- ・地域や企業の課題や取組事例、ノウハウを共有できる仕組み
- ・いきいきサロン(市民)と大学コンソーシアム(大学生)が交流できる場づくり
- ・活動にふさわしい場所を市民に提供(駅前、公園等)

(4) 「八王子で暮らす」をブランド化する

どの世代もマイノリティも、それぞれの人が日常を楽しみ、安全・安心に暮らせる、「居心地が良く、誰もが一生ここで暮らしたいまち」を目指し、八王子の暮らし、働くことがステータスとなるような、「八王子で暮らす」ことをブランド化していく。

八王子の特性である自然を活用しながら、人と人との繋がりがあ、学びがある、知識や体験を交換できる、居場所がある、どの世代も楽しめる、居心地の良い場所がある、安全・安心に暮らせるようなコミュニティづくりを進めることで地域愛を醸成し、ここに住むことが誇りと思える八王子を目指す。外国籍の子どもへの学習支援、マイノリティへの制度整備・環境づくり、子育て・教育・医療・住宅など切れ目ない支援を行い、20年後には当たり前になっている社会でありたいと考えている。

【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・生活費や養育費、医療、住宅などステージにあった切れ目ない支援
- ・子育てコミュニティづくりの推進
- ・学習の場、学校の選択肢の充実
- ・外国籍の人などを含めた学習の場や人材連携・育成の場づくり
- ・「遊び」がある
- ・誰もが使え、情報を入手できるインフラ整備
- ・“八王子で暮らす”の映画製作。エンドロールに市民の名前
- ・どの世代もマイノリティも、それぞれの人が日常を楽しみ、安全・安心に暮らせる居場所を増やす
- ・「居心地のよい街 八王子」を目指す

開催レポートの詳細は、市のホームページに掲載しています。